

# ヤエザキオオハンゴンソウ

*Rudbeckia laciniata* var. *hortensis*

キク科

## 名前の由来

オオハンゴンソウの変種で、頭花のほとんどが舌状花になった八重咲き種であるため。オオハンゴンソウは日本に自生するハンゴンソウより大きく、葉の形が似ていることから。別名、ハナガサギク。漢字名：八重咲大反魂草

## 形態的特徴

大型で高さ1~2mほどになり、よく群生する。花茎は無毛でやや粉白味を帯びる。葉は羽状に深く切れ込み、上方では3~5片、下方では5~7片に分かれ、縁には粗い鋸歯がある。花は上部の枝先につき、鮮黄色で径4~7cm。花びら（花弁）状の舌状花が多数集まり、盛り上がった半球状の頭花になる。ほとんどの小花は舌状花だが、頭花の中央にわずかに筒状花がある。

類似種：特になし。

## 生育環境・分布

道路や道端、草地などの日当たりのよいところに群生する。

分布：国外分布は、北アメリカが原産。

国内分布は、北海道と本州。

北海道内分布は、渡島、日高、根室以外の全道で確認されている。

十勝地方では、道端や草地、道路など、日当たりのよいところに見られる。

## 生活史

開花時期：7~9月上旬。開花までの年数：不明。

寿命：多年草。

## 他生物との関わり

花には虫が訪れる。

## 興味深い話

■明治中期に園芸用に輸入されたものが野生化した。

## 生活サイクル

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
開花期				■								
結実期				■								

## 参考文献

「日本帰化植物写真図鑑」清水矩宏・森田弘彦・廣田伸七 全国農村教育協会 2001

「北海道帰化植物便覧 2000年版」五十嵐博 北海道野生植物研究所 2000

「北海道植物図譜」滝田謙譲 自費出版 2001

「原色日本帰化植物図鑑」長田武正 保育社 1976



ヤエザキオオハンゴンソウ。右下は葉



ヤエザキオオハンゴンソウ(上)



オオハンゴンソウ(右)

魚類

底生動物

両生類  
爬虫類

トンボ

チョウ  
ウ

樹木

(在来種)  
草花

(外来種)  
草花

哺乳類

(水辺)  
鳥類

(草原・樹林)  
鳥類  
ワシ・タカ